

そう だい
総 題 「試練を共にされるキリスト」

だい じ っ か し れん にゅう わ
第10課 試練における 柔和

こ ばやし まさる
小林 勝

いち あんそくにち ご
1. 安息日午後

こん き まな かみさま い なか し れん くる かな と おも
今期の学びは、「なぜ」神様がいのちに、生きている中で試練（苦しみや悲しみ）があるのかと問いたくなる思
いと共に、試練の意味や目的を学んでいます。今週のテーマ「試練における 柔和」はとても難しいことです。

※1 ちよしや せんせい にゅう わ い み ひと きず おこ しんぼう た せつめい
著者の先生は柔和の意味を「人に傷つけられても、怒らず辛抱して耐えること」と説明しています。

にゅう わ にゅう も じ い み わ
柔和の「柔」という文字は「やわらかみ」「やさしい」という意味をもち、「和」も「やわらかみ」「やさしい」
というように「柔」と同じ意味があり、同じ意味が強調されている言葉です。※1 ちよしや せんせい にゅう わ
著者の先生はこの「柔和」
がし れん
試練によってキリストとキリストに従う者たちが得られる最も強力な品性の一つであり、わたしたちが
かみさま ちからづよ しょうにん おし
神様の力強い証人となれることを教えています。

ふくどくほん なか せつめい にゅう わ とくちよう よつ そくめん さんこう
副読本の中で、説明されていた柔和の特徴である四つの※2 側面は参考になります。

いち にゅう わ あくにん たい た めぐ あわ あた つと
1. 柔和は、悪人に対して絶えず恵みと憐れみを与えようと努める

に にゅう わ はんぎやく ひとびと たい やさ こうどう
2. 柔和は、反逆する人々に対して優しい行動をとる

さん にゅう わ すす わかい
3. 柔和は、進んで和解をする

よん にゅう わ ふせい じぶん じしん べんご な ゆ かみさま ゆ
4. 柔和は、たとえ不正のもとでも自分自身を弁護しようとはせず、成り行きを神様に委ねる

きんようび けんきゅう よげん れい にゅう わ で あ こんなん
金曜日のさらなる研究で預言の霊は「柔和」について「われわれが出会わねばならない困難は、キリストの
うちにかくれている 柔和によってずっと軽くなる。」とありがたいことを教えています。それではどのようにして
にゅう わ ひんせい み まな
「柔和」な品性を身につけることができるかについて学びをいたしましょう。

いちちよしや ほん か
※1 著者：本を書いた

に そくめん い み
※2 側面：意味

に にちようび さ そそ しゅ
2. 日曜日：裂かれたパンと注がれたぶどう酒

オズワルド・チェンバースは※3 ちよしよ なか さ そそ だ しゅ つく の
著書の中で、「裂かれたパンと注ぎ出されたぶどう酒が造られる」と述べています。

わたし かみさま もち しゅ しぼ ひつよう
もし、私たちが、神様のために用いられるぶどう酒になりたければ、搾られる必要があります。

せいしよ たしや つか さ しぼ ひとびと もはん
聖書には他者に仕えるために「裂かれ搾られた」人々の模範があります。

やくそく ち たみ みちび た わるぐち ひはん た
モーセは、約束の地に民を導いたとき、絶えざる悪口と批判に耐えました。

うらぎ とうごく あ
ヨセフは、エジプトで、裏切りと投獄に遭いました。

エゼキエルは、神様に妻がすぐに死ぬと告げられ生活が突然壊れました。

これらの人々の心の中を思うことはできません。「不公平だ！」と抗議したくなります。試練の中、神様が共に
おられすべての出来事を支配しておられると信じ確信できない限り、難しいことです。

※3 著書：書いた本

3. 月曜日：恵みのためのとりなし

聖書は、モーセはこの地上のだれにもまさって柔和であったと述べています。民数記 12:3 (口語訳、
新改訳2017 (にせんじゅうなな))。なぜ、モーセは柔和であると考えられたのでしょうか。モーセは悪い人々のために
繰り返し恵みを求め祈っているからです。モーセはキリストの柔和を映し出す真のとりなし役でした。

4. 火曜日：迫害する者を愛すること

ある人が言いました。「敵を愛するということは、真珠が埋めてある泥を愛することではない。そうではなく、泥
に埋もれた真珠を愛することを意味する。……私たちが生まれつき愛すべき存在だから神は愛するのではない。
神が私たちを愛するから、私たちは愛すべき存在になるのだ」

5. 水曜日：封じられた発言

試練における柔和についての模範はイエス様です。イエスは「わたしは柔和で謙遜な者だから……、わたし
に学びなさい」(マタイ 11:29)と言われました。イエス様は不当な苦しみをうけたとき、自分を正当化す
るために語らず口を結ばれました。イエス様の沈黙は柔和を証するものだったので、ペトロはこの「キリスト
の足跡に従うよう」勧めています。

6. 木曜日：私たちの岩そして隠れ家

ガイドに書かれている「上を見上げて」からの※4引用を読んでください。私たちは世の人々だけでなく、教会
の信徒からも理由もなく誤解されると述べられています。私たちは自分が誤解を受けるとき、真理を回復するこ
とは、自分にかかっていると思い戦おうとしますが、「神の僕はキリストの心で武装しなければならない」と教
えられています。ダビデは「わたしの救いと栄えは神にかかっている」(詩編 62:8)と述べ、自分自身のた
めに戦いをする必要がないと教えています。神様を私の岩、救い、避けどころ、隠れ家として成り行きを神様
に委ねることがキリストの心で武装することです。

7. 金曜日：さらなる研究

ガイドに書かれている「各時代の希望」からの※4引用に注目してください。
今週の暗唱聖句は多くの人々が知っている「柔和な人々は、幸いである、その人たちは地を受け継ぐ。」(マ

タイ5:5、新 共 同 訳) でした。しかし、^{にゆうわ}柔 和であることは容易^{ようい}ではありません。なぜなら、^{にゆうわ}柔 和は常に^{つね}試 練^{しれん}の
るつぽと^{かんけい}関係しているからです。しかし、^{にゆうわ}柔 和は私^{わたし}たちの^{くつう}苦 痛^{げんいん}の原因^{ひとびと}になっている人々に^{めぐ}恵 みを^{わたし}もたらし、私
たちにも^{へいわ}平和を^{ちから}もたらす^{あた}力^{わたし}を与えてくれます。私^{わたし}たちは^{にゆうわ}柔 和をと^{しょうにん}おしてキリストの^{おお}証 人^{ひと}となり、^{やくそく}多 くの^ち人^うと
^つ約 束^ちの^う地^つを受け^つ継 ぐ^つこと^つになります。

★^{まな}学 び^ふを^{かえ}振 り 返 る^{かんたん}簡 単^{しつもん}な 質 問

^{にゆうわ}柔 和^いの^み意 味^{ひと}「人^{きず}に^{おこ}傷 つけ^{しんぼう}られても、怒^たらず辛 抱^{あた}して耐^おえる^{あたま}こと^お」を^{てき}頭^{たい}に^{ただ}置^{たいど}いて、「敵^{せつ}」に^{にゆうわ}対^{しゅ}して^か正^{ひつよう}しい^か態 度^だで
接^{せつ}する^{にゆうわ}柔 和^{しゅ}を^か主^{ひつよう}から^かい^だた^だく^だた^だめ、^かあ^だな^だた^だが^だ変^だえ^だる^だの^だ必 要^だの^だあ^だる^だこ^だと^だを^だ書^だき^だ出^だし^だて^だみ^だま^だし^だよ^だう。

^{いの}祈 り

^{てん}天^{おとう}の^お父^{さま}さま、

^{にゆうわ}イエス^{あた}さまの^{にゆうわ}柔 和^{あた}を^{わたし}わ^{わたし}た^{わたし}し^{わたし}に^{わたし}お^{わたし}与^{わたし}え^{わたし}く^{わたし}だ^{わたし}さ^{わたし}い。

^{わたし}私^ぶが^{じよく}悔 辱^{はんたい}されたり、^{はんたい}反 対^{はんたい}されたり、

^{じようきよう}どう^おにも^おな^おら^おな^おい^おの^お状 況^おに^お押^おし^おつ^おぶ^おさ^おれ^おたり^おす^おる^お時^お、

^{れいせい}冷 静^{たも}を保^{たも}ち、

^{さば}裁^{さば}き^{さば}を^{さば}あ^{さば}な^{さば}た^{さば}さ^{さば}ま^{さば}に^{さば}お^{さば}ゆ^{さば}だ^{さば}ね^{さば}す^{さば}る^{さば}こ^{さば}と^{さば}が^{さば}で^{さば}き^{さば}ま^{さば}す^{さば}よ^{さば}う^{さば}に。

※5 ^{せいとう}正 当^{かん}だ^{かん}と^{かん}感^{かん}じ^{かん}ら^{かん}れ^{かん}る^{かん}と^{かん}き^{かん}でも、

^{ふくしゅう}復 讐^きし^きた^きい^き気^き持^きち^きを^き取^きり^き除^きい^きて^きく^きだ^きさ^きい。

^{ふくしゅうしん}復 讐^か心^{あい}に^{あい}代^あえ^あて^あて^あ愛^あを^あお^あ与^あえ^あく^あだ^あさ^あい。

※6 ^{わたし}私^{てきたい}に^{ひと}敵 対^{ひと}する^{ひと}人 々^{ひと}の

※7 ^{えき}益^{えき}の^{えき}た^{えき}め^{えき}に^{えき}な^{えき}さ^{えき}れ^{えき}る^{えき}私^{えき}の^{えき}行 動^{えき}や

^{いの}と^{いの}り^{いの}な^{いの}し^{いの}の^{いの}祈 り^{いの}を^{いの}通^{いの}して^{いの}愛^{いの}を^{いの}示^{いの}し^{いの}て^{いの}く^{いの}だ^{いの}さ^{いの}い。

^なイエス^{いの}さまの^{いの}み^{いの}名^{いの}に^{いの}よ^{いの}っ^{いの}て^{いの}お^{いの}祈 り^{いの}し^{いの}ま^{いの}す。

アーメン。

※5 ^ご正 当^{ひと}：人^{ただ}と^{みち}して^{みち}正 しい^{みち}道^{みち}

※6 ^{ろく}私^{てきたい}に^{わたし}敵 対^{てき}する^{おも}：私^{おも}を^{こうげき}敵^{こうげき}と^{こうげき}思^{こうげき}っ^{こうげき}て^{こうげき}攻 撃^{こうげき}する^{こうげき} (い^{こうげき}じ^{こうげき}め^{こうげき}る)

※7 ^な益^{やく}の^た：役^たに^た立^たつ

さんこう

【参考】

^{しれん}試 練^{しんこう}：信 仰^{けっしん}・決 心^{じつりよく}の^{きび}か^{きび}た^{きび}さ^{きび}や^{きび}実 力^{きび}な^{きび}ど^{きび}を^{きび}厳^{きび}し^{きび}く^{きび}た^{きび}め^{きび}す^{きび}こ^{きび}と。また、^{とき}そ^うの^{くなん}時^{くなん}に^{くなん}受^{くなん}け^{くなん}る^{くなん}苦 難^{くなん}。

(例) ^{れい}「厳^{きび}しい^{きび}」を^う受^うけ^うる^う「^た—^たに^た耐^たえ^たる^た」